

相互会社組織での経営

超長期のサステナビリティを求めて

サステナビリティに対する考え方

当社は創業以来、相互会社形態を堅持する日本で唯一の会社です。

当社の実質的な創業者である第二代社長の吉田義輝は、「ご契約者本位」という想いのもと、相互会社形態にこだわりました。それは、ご契約者が保険団体を構成し互いに助け合う“相互扶助”が保険の精神であり、相互会社は、この“相互扶助”の精神から生まれたご契約者を中心とする組織だからです。

国民生活に密接に関連した公共性の高い生命保険業は、超長期のサステナビリティを前提とします。従って、株主がいらないため過度な成長ではなく、お客さまを守るための成長を志向できる相互会社形態が生命保険業には最も適していると考えております。

当社は、超長期のサステナビリティを求め、相互会社として生命保険業を営んでおります。生命保険は、お客さまとの一生涯にわたる、さらには世代を超える約束であり、終わりのない仕事です。未来永劫お客さまとの約束を守るためには、会社が持続的に成長し存続していかなければなりません。

その前提として、持続可能な社会が必要であり、こうした社会をつくっていくための企業活動は当然のことと考えます。“相互扶助”の精神にもとづく企業活動の一つひとつを通じて、安心して持続可能な社会の実現を目指してまいります。



第二代社長 吉田 義輝



創業当時の社旗
中心には相互組織であることを表す「互」を刺繍



1968年、「がんの子供を守る会」へ、小児がん治療助成金の寄付を開始。1983年までに10億円を寄付

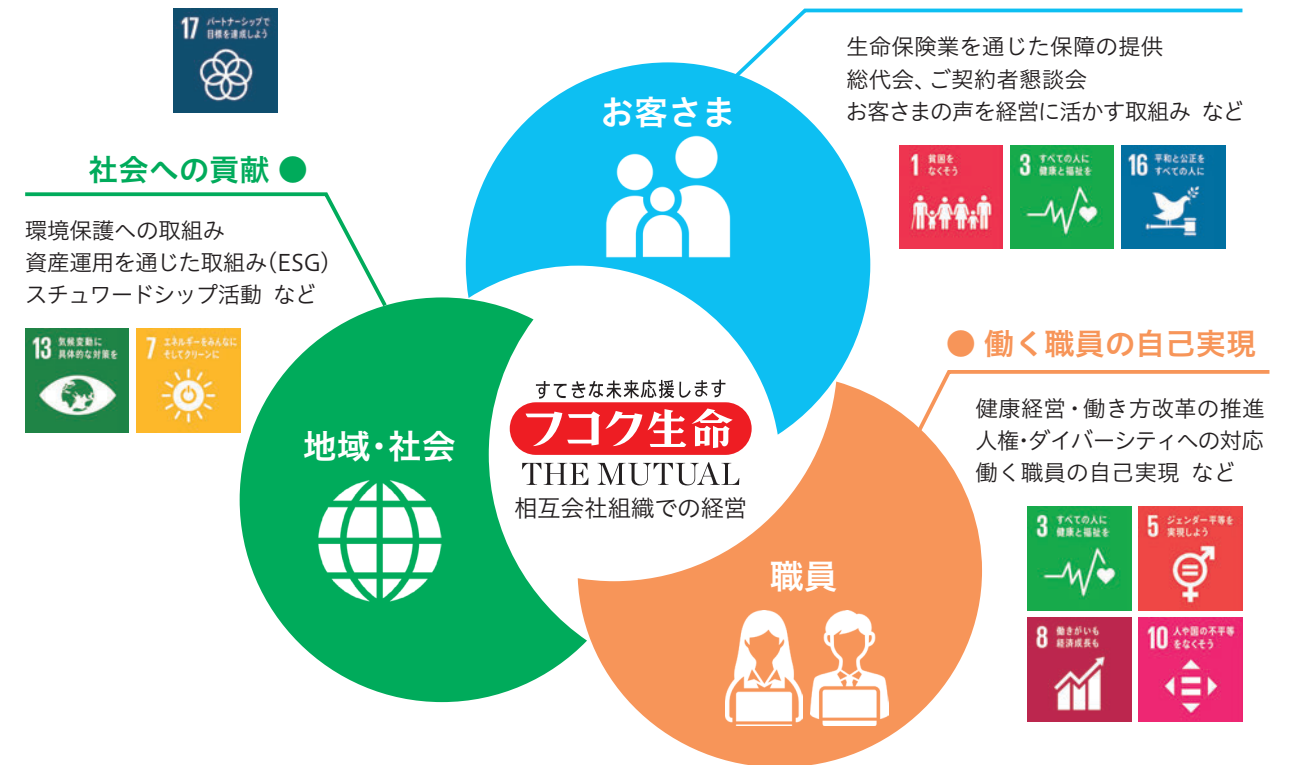


2021年、「THE MUTUAL」おやさいくれヨンを全国の保育園等に寄贈

▶おやさいくれヨンの詳細は「100周年プロジェクト (13、14ページ)」を参照

フコク生命とステークホルダーとの関係図

“相互扶助”の精神にもとづく企業活動



優先取組項目の設定

当社は「事業への親和性」、「ステークホルダーへの影響度」の観点から7項目を優先取組項目に設定し取り組んでおります。



	優先取組項目	対応するSDGs
お客さま	① 生命保険事業の健全な運営	1 貧困をなくそう 3 すべての人に健康と福祉を 16 平和と公正をすべての人に
	② 生命保険業を通じた保障の提供	
地域・社会	③ ESG 投融資の推進	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに 13 気候変動に具体的な対策を
	④ 気候変動含む環境問題への取組み	
職員	⑤ 健康経営・働き方改革の推進	3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう
	⑥ 人権・ダイバーシティへの対応	

7 ステークホルダーとのパートナーシップ

17 パートナリーシップで目標を達成しよう